

JICAボランティア事業

JICAボランティア事業は、開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。JICA海外協力隊は、現地の人々とともに生活し、働き、彼らと同じ言葉で話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進するように活動します。

青年海外協力隊

西 望弥 さん(石川県出身)
2017年度4次隊/派遣国: ガーナ/職種: PCインストラクター

ガーナの日中は37度ととても暑い毎日です！職業訓練校でOfficeソフトを中心に教えています。生徒の中にはマウスの持ち方が分からない、両手でタイピングが出来ない生徒も。近隣の小中学校や村内の子供達にも教えています。少しでも多くの子供達にICT知識を高め、興味を持ってもらえるよう、今後も活動していきたいです。



シニア海外協力隊

土田 高義 さん(福井県出身)
2018年度2次隊/派遣国: セネガル/職種: 料理

セネガルの首都ダカールに着任して3か月、まだまだ自分のフランス語は通じませんが、英語と日本語の実演を通してボランティア活動を楽しんでいます。油もの好きのセネガル人には、名古屋風手羽先唐揚げとコロッケが特に好評です。今後は調理衛生環境を整え、ヘルシーな寿司を紹介したいと思っています。



日系社会青年海外協力隊

中村 健太郎 さん(富山県出身)
2018年度1次隊/派遣国: ブラジル/職種: 日本語教育

「先生、元気？」村の方たちはいつもそう声をかけてくれます。私の活動先である第3アリアンサ(富山村)は、日本移民の開拓地であり、今も色濃く日本文化が残っています。日頃の授業では日本語や日本文化に親しむために、折り紙やかるた等、遊びを織り交ぜながら学習しています。また、日本語学校の合同行事もあり、日本語を学ぶ仲間がたくさんいます。



JICA海外協力隊 春募集開始!!

応募期間 2月13日～4月3日 正午

富山県説明会キャラバン

日程 2019年 4月6日(土) 11:00～13:30 / 14:30～17:00
会場 タワー 111 2階会議室1

JICA研修員が講師を担当! ～アフリカ料理の会～

@福井県社会福祉センター

1/12(土)、福井・タンザニア姉妹村協議会主催のアフリカ料理の会が開催され、55名の参加者が調理と食事を体験しました！

当日はタンザニア出身のJICA研修員ザワディさんが講師を担当し、ウグリ(とうもろこしの粉を捏ねたもの)、カチュンバリ(サラダ)など7種類の料理をレクチャーしてくださいました！

また、セネガル料理や福井名物おろし蕎麦なども調理し、アフリカと日本の食文化を通して参加者がふれあう1日となりました！

蕎麦打ち体験



参加者の皆様



講師のザワディさん(右から2番目)



ミャンマーからの長期研修員 トウザーさん & ウーさんにインタビュー!

Q. 日本で研修員として学ぶ以前、母国ではどんな仕事をしていたか?

トウザーさん ミャンマーの医科大学で生理学の講師をしていました。
ウーさん ミャンマーの医科大学で生化学の助手をしていました。

Q. 金沢大学附属病院でどのようなことを勉強していますか?

トウザーさん 人が健康に生きるためには血管は重要な役割を担っています。その血管の内面において細胞レベルで起こる反応に、「PI3K」という酵素がかかわる役割を研究しています。



မင်္ဂလာပါ။
(ミンガラバー/こんにちは)

ウーさん 「セレノプロテインP」という肝臓でつくられるタンパク質の研究をしています。セレノプロテインPはインスリンの働き具合を低下させ二型糖尿病を悪化させることが解っています。ミャンマーでは肥満の人が多く糖尿病も問題になっています。ここでの研究が問題解決につながると思います。

Q. 日本へ来て文化の違いなどで驚いたことはありますか?

トウザーさん 私は、ミャンマーの暖かい地域から来たので、金沢は春でもとても寒くてビックリしました！日本に来て桜と雪を初めて見ました。とても綺麗だけど、雪は寒いです(笑)
ウーさん 「冷たいお茶」があるのに驚きました。ミャンマーでは温かいお茶しか飲まないの日本に来て初めて冷たいお茶というものを飲みました。

トウザーさん: Khin Thuzar Aungさん(フルネーム)
ウーさん: Swe Mar Ooさん(フルネーム)
※多くの国では家族を表す姓がありますが、ミャンマーにはありません。ここでは、お二人に合った上で、略名としています。

教師海外研修 報告会

JICA北陸では、途上国での実体験型研修を通して学んだ内容を直接教育現場に還元して頂く「教師海外研修」を学校教員の方々向けに実施しています。今はグローバル化が進み、より良い地域社会・日本・世界を築いていくことを考えるには、外国のことも知っていなければいけない時代になっています。だからこそ、学校教育の中で、国際理解を意識した取り組みが必要だとJICAは考えています。

今年度は大洋州の島国サモアを北陸の教員9名が訪問し、帰国後は学校でグローバル教育を行ってまいりました。2月23日に成果を発表する報告会を開催し、実践した国際理解授業の具体的な内容と共に、子供たちの変化について報告を行いました。新しい世界を知って視野を広げただけでなく、正解のない問いに立ち向かう子供たちに確かな成長を見たという報告が多くありました。これからもグローバル教育を推進する意義を強く感じる事が出来た報告会となりました。



藤田先生(白山市立松任中学校)の実践授業報告の様子



研修成果報告

2019年度教師海外研修 参加者募集中!

開発途上国での実体験型研修プログラムを通して学んだ内容を直接教育現場に還元して頂く「教師海外研修」。現在、2019年度の参加者を募集しています。詳しくはJICA北陸のWEBサイトをご覧ください。

2019年度 教師海外研修 参加者募集 検索

<https://www.jica.go.jp/hokuriku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/>

募集要項 ●派遣国: サモア ●応募資格: 富山県・石川県・福井県の国公立・私立の小中学校から高校までの教員及び教育委員会の指導主事等
●募集人数: 5名

5月10日(金)まで

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2018

受賞者発表!

今年度は「世界の幸せのために私たちができること」をテーマに作品を募集し、全国から72,486点もの応募をいただきました。(中学生の部: 37,748点、高校生の部: 34,738点)北陸では今回4名の方が北陸センター所長賞を受賞されました。中学生・高校生の時から世界に目を向け、自分だけでなく世界の人達にとっても大切なことをきちんと考えられる力。そして将来に向けた力強い抱負。これからの活躍がますます楽しみです!



北陸センター所長賞 富山国際大学附属高等学校 松田 穂乃佳さん



北陸センター所長賞 富山市立堀川中学校 中村 望愛さん

中学生の部

佳作 富山市立南中学校 悟道 翔太郎さん
青年海外協力隊福井県OB会長賞 坂井市立坂井中学校 児玉 亘さん
青年海外協力隊石川県OB会長賞 かほく市立高松中学校 岡田 心音さん

北陸センター所長賞 福井県立高志中学校 伊東 優美さん

北陸センター所長賞 石川県立金沢泉丘高等学校 川島 百合絵さん

高校生の部

佳作 富山国際大学付属高等学校 砂 綾乃さん
佳作 富山国際大学付属高等学校 古川 陽さん
青年海外協力隊富山県OB会長賞 富山県立伏木高等学校 高橋 蘭さん
青年海外協力隊福井県OB会長賞 福井工業高等専門学校 上田 健人さん